

2023  
12



写真①みんなで歌おう♪

## こどものイベント

# 「～ギターにのせて～ きいて音楽 みて美術」

■開催日時：2023年12月10日(日)10:30～12:15

■参加者：こども5名、保護者5名

■対象：小学生～高校生

■場所：アトリエ1、常設展示室

## ■概要

ギタリストの木村モモさんをお招きして、参加者が展示室の作品から感じとった言葉やメロディーをつなげて、出来上がった曲をみんなで演奏しました。

## ■1 木村モモさんによるレクチャーと演奏

講師の木村モモさんは、国際的なピッキングギターのコンクールで世界一になった兵庫県出身・在住のギタリストです。

最初に、モモさんのクラシックギターの演奏でオリジナルの2曲を聴きました。1曲目は「黎明(れいめい)」。夜明けの風景を見て感動した時にできた曲で、のびやかに響く美しい音色に参加者は耳をすませて聴いていました。2曲名は「フロー」。「楽しいと思える時間を思い浮かべて聴いてほしい」とモモさんからお話があり、そのギターテクニックや音の世界に参加者みんな引き込まれている様子でした。



写真②モモさんのギターの演奏

## ◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・たくさんの人と曲が作れて楽しかったです。ありがとうございました。(6年)
- ・とても楽しかった。(多数)

## ◇保護者の感想

- ・プロのギタリストの方が、子ども達の感想を1つの曲に仕上げてくださり、その制作過程を見ることができて、感動しました。できあがった曲もすてきでした。

## ■2 鑑賞

2023年コレクション展IIに展示されているアーミティジ、ケネス《縞模様のスカートの少女》(写真③)を展示室で鑑賞し、作品から感じた言葉を書き留めます。感じたことをどんな言葉で表現すれば良いのか困っている人もいれば、どんどん紙に書き込んでいく人もいました。作品の周りをぐるりと回りながら見たり、近くから遠くから見たりと、作品から聞こえる言葉を次々に探しました。さて、どんな言葉をみんなは拾ったのでしょうか？



写真③



写真④ 作品から感じたことを話そう



写真⑤ モモさんの作曲風景

## ■3 曲作り

アトリエ1に戻り、作品から拾ったみんなの言葉を集めていきます。(写真④)「踊ってる感じ。ルンルン♪」「夏の日にはプールに飛び込む。ワイ♪ザバーン♪」「階段をおりていっている感じ。タンタン♪」ホワイトボードにたくさん言葉やリズムが並びます。(写真⑤)モモさんが曲をつくらしている間は、参加者同士お互いのメモを見せ合いながら、見てきた作品がどんなものだったかを楽しく話し合いました。メロディーができれば、歌詞をつけていきます。モモさんの提案で、みんなで名付けた作品の少女の名前は、「フネネフ」としました。さて、どんな歌詞ができたかな？

## ■4 演奏とふりかえり

「♪フネネフ あそぼう 海に行こうよ 船が来ているよ おどろうよ」出来上がったメロディーと歌詞を覚え、繰り返し練習しました。保護者もコーラスで参加することになり、最後には会場にいた全員でモモさんのギターに合わせて今日の歌を歌いました(写真①)。歌い終わった後、温かい拍手と心地よい余韻に包まれました。歌ってみた感想を聞くと、「みんなで歌えて楽しかった」「ギターが入ってよかった」など教えてくれました。モモさんからは、「フネネフの曲はいい曲、これからも歌ってほしい。楽しいと思う気持ちが心を明るくしてく、その気持ちにさせるのが音楽や美術だと嬉しい。音で遊んで心を開いて、いい1日をつくってほしい」と伝えました。



写真⑥ 「フネネフ」の楽譜

## □イベント担当からのコメント

最初は照れていたのか小さかった歌声もだんだん大きくなって、歌うことが楽しくなってきたんだなと感じました。みんなで拾った言葉やメロディーを元に作られた歌は、今日の参加者の誰が欠けても出来上がらなかった曲です。ふとした時に思い出す作品やメロディーがあると、毎日が楽しくなると思います。心が動いたときに心にある言葉や音を、大切に集めて楽しんでみてください♪  
(松上ミュージアムティーチャー)